

『みどりっこ夏まつり』

校長 渡部 透

本校では毎年7月下旬の土曜日に『みどりっこ夏まつり』を開催してきました。令和元年度まで12回開催され、地域の方々と一緒に作り上げてきた学校行事でしたが、ここ2年間はコロナ禍のため開催できませんでした。今年度は、徐々に社会活動再開の機運が高まっていたこともあり、祭りの規模を縮小し、保護者（2名まで）と卒業生の一部が参加する形で開催を計画していました。しかし、7月に入ってから感染者の激増のため、やむを得ず児童生徒と教職員のみで開催することとなりました。夏まつりの当日は、心配されていた雨は降らず、ちょうどいい曇天の下、本校中庭を会場に『みどりっこ夏まつり』を開催することができました。

今年度の『みどりっこ夏まつり』では、「高等部生徒有志と岩澤将志氏*による太鼓演奏」「高等部3年生の民謡」「児童生徒有志によるパフォーマンスショー」「羅漢*2ライブ」「全校よっちょれ」などが披露されました。和太鼓演奏や民謡の歌と踊りは授業で取り組んでいるものですが、これまでの練習や学習の成果を全校児童生徒の前で発表するとても良い機会となりました。また、パフォーマンスショーでは、友だちと一緒に、あるいは一人で好きなダンスや歌、得意技などを自ら進んで大勢の前で披露しました。「全校よっちょれ」は、夏まつりで全校で踊ることを目指し、各学部や学級毎に練習を重ねてきたもので、みんなが一緒に楽しんで踊ることができました。

この『みどりっこ夏まつり』で見せてくれた子どもたちの表情は、普段の学習場面ではあまり見られない特別なものでした。発表の緊張感の中にも自信をのぞかせた顔、人前でパフォーマンスをすることを楽しむ顔、観客を沸かせた時の得意げな顔、精一杯歌ったり踊ったり、得意技を披露したりして満足感に溢れた顔など、この時間を楽しむ笑顔が会場中で弾けていたように思います。羅漢さんのライブも、昨年以上にノリノリで、体をゆらし手を振り音楽を楽しんでいました。短い時間ではありましたが、全校一緒に楽しむことができ、一体感が感じられた本当によい時間でした。また、こういった時間が、子どもたちの学校生活をより充実させるためにも大事な時間であると改めて感じたところです。来年度には保護者の皆様にも参加していただきたいものです。

夏季休業は8月24日までです。8月後半は、この新型コロナウイルス感染症の状況がどのようになっているか分かりませんが、児童生徒が楽しんで活動できる日常が戻っていることを願うばかりです。

*1 岩澤さんは『AKITA和太鼓パフォーマンスユニット音打屋』に所属しており本校の生徒に和太鼓演奏を教えています。

*2 五城目町出身のラッパー羅漢さんは昨年度も本校でライブをしてくださいました。また、高等部の授業でも特別講師になってくださいました。